



コミセンレポ — コミセン、和白5校区などの注目情報です —

わじろ映画館／第5回コミセンまつり 新旧イベント開催で地域交流

初の開催！盛況！「わじろ映画館」

昨年12月26日と今年1月6日、5F多目的ホールにて「わじろ映画館」が開催。

12月は『怪盗グルーの月泥棒』。大人気の「ミニオンズ」が登場。子どもたちが歓声をあげて応援しながら夢中で鑑賞する姿、プレゼントをサンタから貰って喜ぶ

姿がとても印象的でした。

年明け1月の作品は『男はつらいよ 幸福(しあわせ)の青い鳥』。正月映画の定番で、筑豊が舞台の作品。「寅さんをスクリーンで見るのが夢だった」と感想をいただくなど、来場者からも好評でした。これからも、地域のみなさんと楽しい時間を過ごせる作品を上映予定です。



▲ 地域のたくさんの方々が、映画を楽しんだ。

熱く盛り上がった「第5回コミセンまつり」

先月2月18日、「第5回コミセンまつり」が開催。今年のテーマは「冬を燃やせ！5つの和」。注目は、3F体育館で初めて実施した地域の中学生たち、ユース実行委員によるものづくりブース『コミクラブース』。委員のみんなと来場者が一緒にスラ

イム、ミサナなどを制作。地域の多くの子どもたちが集うなど、交流が生まれていました。もちろん5Fサークルの華々しい発表、3Fの入賞者続出のスポーツリアル『メダリストになろう』やロープジャンプ大会、2Fの親子イベント、お餅つきまで。今年も地域の方々が輝き、交流し、つながる1日となりました。



▲ 子どもたちとものづくりをするユース実行委員。



コミセン活用術 — 私たちの施設を使って、もっと身近に —

コミセンWi-Fi インターネットもつながる！

昨年6月からコミセンわじろの2Fと3Fのロビーに設置されている「Wi-Fi」。簡単に言うと、有線につないだりしなくても、無線でWEB閲覧やメール、投稿など、無料でデータのやりとりができる高速通信システムのことです。最近ではカフェや公共施設でも設置場所が増えました。使い方は、「コミセンわじろWi-Fi」を選んでパ

スワードを入れるだけ。これであなたのスマートフォンやノートパソコンで、快適にインターネットが利用できます。通常の回線を使わないので、通信料金の節約にもつながります。ロビーでのちょっとした待機時間などに、メールチェックや調べ物などできます。コミセンわじろ利用時に、さまざまな使い方をお試しください。

今回の活用ポイント

- ◎ スマホ、パソコンでネットOK
- ◎ 通信料金の節約にもつながる！
- ◎ 利用はパスワードを入れるだけ



▲ スマートフォンで動画もラクラク。

※パスワードは受付でお伝えしていますので、希望する方はスタッフまでお声掛けください。



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる



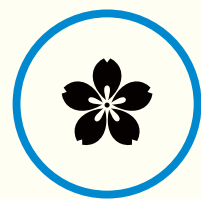
vol.
2018 Spring

pick
up

わじろじまん 和白郷土資料室

わじろ元気印 美和台校区どんたく隊





地域 〇〇 文化

わじろじまん — 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介します —

和白郷土資料室

地域の“暮らし”のアーカイブ

海苔養殖のための漁具や、大きな水車、布の織り機、足で踏む人力の脱穀機や精米機などの農具、博多曲物でつくられた祝いの膳、古いカメラやタイプライターなどまで。和白公民館の武道場の2Fにある『和白郷土資料室』には、和白の地域の歴史を伝える、さまざまな道具が並んでいます。今回のわじろじまんは、この資料室をご紹介します。

地域の方々が集めた貴重な資料たち

ここにある資料を集めたのは、「和白郷土史研究会」です。昭和35年、和白地域（当時の和白町）は福岡市に合併。以後、高度経済成長により急速に住宅開発など都市化が進み、それまでの歴史や民俗の記憶が無くなることが危惧されました。そこで地域の記憶を残したい有志が、昭和59年6月に発足したのが同研究会です。現在の校区を超えた形で集まった会員のみなさんは研究と、昭和63年より資料収集を開始。農具、漁具、生活用品など約400点を集めました。資料は、平成6年からは現在の和白公民館にある武道場2Fに展示されています。

また同会の歴史や民俗についての研究成果は随時小冊子などで発表されており、平成18年に『ふる里のむかしわじろ』という冊子にまとめられています。



① 資料室の様子。資料は漁具、農具から日常生活用品まで多岐にわたる。

歴史に「触れる」ことで次世代へ伝える

この資料室は、見学希望者への公開のほか、地域の学校や見学者の要望があれば、現在も使える脱穀機による稲の脱穀や、石臼での粉挽きなど、かつての暮らしを体験できる学習の機会を提供しています。資料室のある和白公民館の館長である花田豊さんに、資料室の展示物の魅力と、これから聞きました。

「ここに来れば地域の歴史や生活の記憶、知恵に会える。それが魅力です。使ったり体験したりできること、この展示室にあるものは、触れていただいても構わ

ない。そこが良いところです。」

地域が育って来たからこそ、残すべき義務もあるのではないかと。花田さんは地域の将来も考えながら、そう語ってくれました。「校区で考えると、明治6年に地域で最初の小学校ができて、現在の5校区まで増えました。しかし、また時代が経てば学校さえもひとつに戻るかも知れない。今を残しておかないと、自分の校区、ふるさとの記憶がなくなる人もいるかも知れない。資料の残し方は新しい方々に引き継いでも良いので、地域ならではの資料の研究や保存を続けて欲しいです。」



この方に聞きました！

花田 豊 さん
和白公民館 館長



▲ エリアマップ



② 脱穀機や精米機は、希望すれば体験も可能。③ 生活用品は使い方など説明書きも同時に展示している。④ 祝い事に使われた「ポッポ膳」。当時の暮らしの様子がイメージできるような展示を工夫している。

『ふる里のむかしわじろ』・・・コミセンわじろでも、希望があれば閲覧いただけます。



地域 〇〇 団体

わじろ元気印 — この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

美和台校区どんたく隊

参加すると楽しかばい！

ゴールデンウィークに開催される「博多どんたく港まつり」。日本最大級のこのお祭りに、市内の自治協議会として唯一参加している「美和台校区どんたく隊」。活動をしている井上勝子さん、同校区の自治協議会長の山下喜久男さんに話を伺いました。

—どんたく隊を始めたきっかけは？

既にまつりに参加していた団体に誘われたのがきっかけです。平成22年、当時の“のぼせもん”4人が「美和台校区でも出たい」と言い出し、参加となりました。当初は有志で始めたこの活動も、今では美和台自治協議会の主催行事に。年齢、世代を問

わず、100人を超える参加があります。

—どんたく隊の活動について

「美和台音頭」にパレード用に振り付けをし、本番前に小学校でリハーサルをしています。どんたく当日は「美和台校区」の大きな看板を先頭に、旗持ち隊、あでやかな着物姿の美保乃会、ピンクのポンポン隊、若々しいフラガール、毎年変化する花車などが続き、見どころ満載！おそろいのポロシャツを着用し、はじめての方も「しゃもじ隊」として気軽に参加できます。見物も楽しいですが、パレード隊として中から楽しむどんたくもまた格別です！約



▲ 花車は、地域の皆さんによる手作り。

1.3キロの距離を歩くのは大変に思われがちですが、参加者は「気分最高！もっと歩きたかった！」とみんなニコニコ顔です。もちろん沢山の観客の方からの熱い声援はとても嬉しく力になります。

—次回は今年のGWですね！

地域の皆様へお伝えしたい。とにかく楽しいので是非参加してほしい。なんと言っても終了後、雨天中止でも開催する“打ち上げ”がとっても盛り上がるんですよ。

参加することでつながりができ、その後も声を掛け合っ色んな校区行事を楽しんでいます。毎年「美和台通信」4月号で参加を募集するので、是非見てくださいね。

この方々に聞きました！



(右) 山下 喜久男 さん
(左) 井上 勝子 さん
美和台校区自治協議会



応援課だより — 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

地域情報共有

知ったり学んだり。地域情報を共有！

開設して丸6年が過ぎるコミセンわじろ Facebook。施設のできごとやおしらせに加えて、和白5校区で行われるイベントや行事の情報、参加レポートなど、地域がいろんなところで「つながる」ための、さまざまな内容を発信しています。

最近開始したのが『地域活動応援コラム』。活動に保険がある？こんなデータが

あるんだ！みんなで地域活動に役立つ情報やノウハウを共有してみたくて始めました。もちろん地域活動に関する相談にも、気軽にお越しください。

「どう使おう？」「こんなのはないかな」と思ったら、コミセンわじろ地域活動応援課へ。みなさまがはじめる地域活動、応援しちやいます！

ご相談やお問合せはコチラまで

☎ 092-608-8480

✉ support@wajiro.info



▲ facebookで地域活動に関する情報を発信中。